

巻 頭 言

日本東洋医学研究機関連絡協議会会長

北里研究所東洋医学総合研究所所長

花 輪 壽 彦

平素は日本東洋医学連絡協議会（日東医協）の活動に対して、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

いつも申し上げますように、この協議会の設立目的は各研究機関の横の連携を密にして、国内外の諸活動を円滑に進めようというものであります。

先般 WHO ジュネーブ主催の WHO 伝統医学協力センター長会議が上海で開かれました。伝統医学に対する各国の実情と今後の展開が話し合われましたが、文化の違い、用語の違いから始まり、治療内容や現代医療における位置づけも様々で、global standard をめざす WHO 本部の期待は、とりあえず世界の伝統医学協力センター同士の横の連携を深めることを確認するにとどまりました。ただ各国の活動内容をホームページ上で英語でみれるようにすべきであると決議されました。その意味では本会の活動も英語で世界に発信する必要があるようです。

なお、本年も「会報」作りに御協力の程、感謝申し上げます。研究成果の年次報告は本会活動の一次資料となるものです。よろしく願いいたします。